



## 第一礼拝次第

説教：渡真利文彦文牧師  
司会：安慶名栄輝執事

前奏			
頌栄	5 4 0	会衆	
主の祈り		〃	
プレイズ	「主の御言葉待ち望む」 「すべての良きもので」	〃	
聖書朗読	列王記下6章8-23節	司会	
祈禱	(旧約聖書 p586)		
スペシャル	アンクル・ボタン		
賛美	聖歌195	会衆	
説教	「見える目を我に」	牧師	
祈禱			
賛美	新生557	会衆	
献金			
報告		司会	
頌栄	新生672b	会衆	
祝禱		司会	

### <巻頭言>

「北陸の地を訪ねて」

牧師 渡真利彦文

先週の日曜日は石川県金沢市郊外にある教会を訪れ、礼拝を捧げた。

石川県は日本海に面し、江戸時代加賀100万石と呼ばれ発展した細長い地域である。なかでも金沢は小京都と呼ばれているが、金沢の人々はそう呼ばれることを喜ばないようだ。なぜなら京都は公家文化、金沢は武家文化なので京都とは違うと意識を持っている。武家屋敷や茶店がいまだに残りその当時の名残を体験することができる。工芸が盛んで、金沢駅西口を出ると行き交う人々を圧倒するかのようにとてつもない大きな門に遭遇する。また海鮮や加賀野菜など南国沖縄とは違う北国の食文化に出会う。

ホームページなどで教会を調べると金沢市内も教会が少ないが、郊外や地方に目を馳せると、さらに教会が少ない状況だ。礼拝を捧げた内灘聖書教会は、浄土真宗の牙城と呼ばれる土地柄で伝道をスタートさせた。初代牧師によると、大人だけを目指にすれば大きな成果は期待できないと考え、まだ柔らかい子どもたちに福音を伝えることを伝道を中心に置いたそうである。試行錯誤を経て、教会に笑顔と賛美が満ちる日を夢見て伝道に励んでいる。そして、「世の光として輝く」ことを教会標語に掲げ、教会の週報に具体的な方針が掲げられていた。「神を礼拝し、賜物を用い隣人に仕え、この世に福音を証しし、主にある交わりを喜び、神の言葉に教えられ成長する健全な教会を建て上げる。」主の教会の拡大を祈りたい。



## 第二礼拝次第 (19:00)

説教：エイドリアン・アルセ師

Come and see!

Let's praise the Lord!



### ファミリー礼拝 (9:00)

説教：ラスムッセン・ジョンソン執事

聖書：エペソ書 37章 1-14節

メッセージ：「主が霊を吹き込む」